

ゆった〜り山行実施記録表

2017年8月7日 報告者:Y.S

| | | | | | |
|---|--|------|--------|------|------------------------------|
| 山行名 | 霧ヶ峰高原フラワーハイキング (車山) [1,925m/長野県] | | | | |
| 実施日 | 平成29年8月5日(土) 日帰り ハイエース利用 | | | | |
| 天候/参加人員 | 天候:晴後曇後にわか雨 レベル:★☆☆ 参加人員:11名(申込み12名) | | | | |
| パーティスタッフ | CL/計画: SL: 会計: 救護: 写真: アルバム: | | | | |
| 参加メンバー | スタッフ省略 | | | | |
| 費用 一人当たり 4,700円 | 【内訳】 ハイエースレンタル料:16,848円、燃料代:100×(380+50)÷5=8,600円、 高速代:(相模湖〜諏訪)3,990×2=7,980円、ドライバー謝礼:18,000円、 費用合計=51,428円/11名:4,700円、カンパ金:272円、 | | | | |
| 歩行/行動時間 | | 歩行時間 | 休憩時間など | 行動時間 | 行動時間比(実行/計画) 歩行時間比(実行/計画) |
| | ガイドブック | 2:50 | | | |
| | 計画 | 3:20 | 1:15 | 4:35 | |
| | 実行 | 3:30 | 1:30 | 5:00 | |
| 実行コースタイム記録 | | | | | |
| <p>8月5日(土) 中央高速道 県道40号線 65 30</p> <p>本厚木----- 相模湖IC ----- 初狩PA ----- 諏訪IC ----- 車山肩駐車場 車山山頂 車山乗越(昼食)</p> <p>6:07 7:20 7:45 7:55 9:01 9:35(トイレ&体操)9:50 10:55 11:00 11:30 12:10</p> <p>10 35 (沢渡) 35 30 5</p> <p>..... 蝶々深山分岐 霧夢サロン ヒュッテみさやま ----- 八島ガ原湿原入口 ----- ビジターセンター駐車場===</p> <p>12:20 12:55 13:00 13:35 14:10 14:40 14:45 14:50 15:00</p> <p>県道40号線 中央高速道 旧秋山村/牧野経由</p> <p>----- 諏訪IC ----- 双葉SA ----- 上野原IC ----- プレジャーホレスト前(旧ピクニックランド) ----- 本厚木</p> <p>15:45 16:20 16:40 17:55 18:35 19:30</p> | | | | | |
| コースの概要、特記事項、反省事項等 | | | | | |
| <p>台風5号が迷走して週末の天気が決まらず、朝の天気予報と夜の天気予報ではまるで逆になったり、また変わったったり、インターネットの天気予報もそれぞれ違い、最終決定の水曜日が一番よいものを信じて実行を決意し、後は現地で判断することにしたが、まったくCL泣かせの台風5号である。</p> <p>高速へ入る頃から天気も晴れの方へ向っている感じで、車山肩駐車場では雲はあるが晴れていた。レストラン横には新しいトイレが並んでいて助かる。準備体操の後車山へ向って出発、しかし道の左右にある花を見て「この花はあれだよ」「そうよあれ・あれ」とやはり「あれ」ばかりSKさんが図鑑を広げ調べては名前を告げていて、一向に前へ進まない、でも今日の目的はフラワーハイキングなのでこれで満足。STさんは花の名前を一つ一つメモしている。本当はCLも熱心にメモして、報告書へ反映しなければならないのだろうけど、どうせ覚えられないとはなから諦めている。従って、赤い花は「ミヤマアカバナ」黄色の花は「ミヤマキバナ」白なら「ミヤマシロバナ」これで終始通すことにすれば全く考えずにすむことを発見、これは最高の案霧が峰のシンボルである「ニッコウキスゲ」はもう時季はずれで、名残の花がチラホラあるのみ。ゆっくり花見物をしながら1時間以上掛けて車山山頂上へ到着、山頂上には車山神社が祭られ、4本の御柱が立っていて、「これ麓から運んだのかね」「いや、ヘリで運んだと思う」などよけいな心配をしている。その前には巨大なドームが建っていて、気象レーダーとのこと、山頂上の景観を損ねると怒るCL、昨日までのところろ変わる天気予報に腹が立って八つ当たりしているようだ。</p> <p>下った所の車山乗越でお弁当、今の所良く晴れているが、午後の天気は分からないので、SLと相談し蝶々深山手前の湿原に行くことにしたが、ガイドブック等には花が多いとあったが、それほどでも無く、りっぱな木道も最初のみ、後は笹で覆われている道になってしまった。しかし登山客には数人に会ったのみ、静かで気持ちよいハイキングが出来た。ヒュッテみさやまで美味しいコーヒーを頂き、八島ガ原湿原に向う、以前来た湿原の印象と違い、今回は湿原がまるで牧場のような草原に見えた。木道を花を愛でながらのんびり散策、駐車場へ着き、アイスクリームをほうばる間もなく、大粒の雨が降ってきた、あやうくセーフ。蝶々深山をカットして大成功だったようだ。今回見られた花の一部を記す。「ヤナギラン」「アカバナシモツケ」「ハクサンフウロ」「アサマフウロ」「グンナイフウロ」「イブキトラノオ」「ノハナショウブ」「クガイソウ」「ハンショウズル」「ノアザミ」「ツリガネニンジン」「フシグロセンノウ」そして「ミヤマアカバナ」ありがとう。</p> | | | | | |